

令和8年度 第1回 学校運営協議会 記録

- 1 日時 令和8年5月19日(火) 午前9時30分から午前11時30分まで
- 2 場所 沼津視覚特別支援学校 会議室
- 3 出席者

(1) 学校運営協議会委員

- ・ 第五地区東連合会自治会会長
- ・ 東部社会教育振興協議会事務局長
- ・ 沼津ライオンズクラブ会長
- ・ 三島市主任児童委員
- ・ 本校PTA会員
- ・ 特定非営利活動法人ティンクル副理事長 * 本日欠席
- ・ 和太鼓奏者・本校卒業生 * 本日欠席



(2) 学校職員

- ・ 校長、教頭、事務長、各部主事・主任、教務・情報図書課長、支援センター長、キャリア支援課長

4 会議の内容

- (1) 自己紹介、校長あいさつ、任命書交付、事務書類説明、日程説明等
- (2) 校内参観
- (3) 校内参観の御感想・御意見
- (4) 協議①学校要覧と令和8年度学校経営方針について
- (5) 協議②(グループワーク)

「幼児児童生徒、そして保護者が成長を実感できるキャリア教育」

「自己理解・生活習慣・職業理解・体験活動」を意識したキャリアパスポートの活用と進路指導の実現について、委員と教職員によるキャリア教育ガイド資料等を用いたグループワークを3グループに分かれて実施した。

- (6) 協議③不祥事根絶に向けた本年度の取組について

(7) その他

5 会議報告

<御感想・御意見>

- ・ グランドデザインにおける「豊かな感性」を重視する表現を高く評価する。
内容が深いからこそ、具体的な教育活動への具現化を期待したい。
- ・ 社会参画において、自身の必要な支援を説明し対話する力は不可欠であり、今回の「自立」の定義は非常に有意義である。図書ボランティアによるきめ細かな図書支援にも改めて感銘を受けた。
- ・ SNSでの発信強化により、学校の活動が具体的に見えるようになった。
保護者が外部へ学校の状況を説明する際にも非常に助かっている。
- ・ 学校経営の方針について、課題を絞り集中する方針再編は合理的である。
働き方改革においては、教職員の情熱を尊重しつつも、対話を通じて生産性を高める視点が重要であり、学校の真摯な課題解決の姿勢に接し、自身の人生観が変わるほどの感銘を受けた。

